

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 751726)

※校園コードを入力してください。

学校名 加美南部小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 200,000 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

児童の基礎学力の確実な定着、「わかりやすい授業」、教員の指導力向上に向けて、研究教科を「算数」と定め、主体的・対話的で深い学びをする児童の育成をめざし、校内研究に取り組んでいる。また、昨年度まで2年間を通して、児童の基礎学力の定着につながる読書力向上に向けて、学校図書館の整備と読書活動の充実に努めてきた。学校図書館の蔵書の分類、整理等がすすみ、児童のよりよい読書習慣が定着したが、小学校学力経年調査の標準化得点において、すべての学年が大阪市平均を下回っており、児童の基礎学力の定着につながったとは言えない。依然として、家庭学習習慣や自主学習習慣など、自ら進んで意欲的に学習することに課題があると考える。

今年度は、授業において、ICT機器(タブレット・電子黒板等)の積極的な活用に努める。画像・映像等による児童の視覚的認知をすすめる、また、児童間での学び合い等を通して、児童の学習意欲を高め、学力向上を図りたい。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標(小・中学校)

- 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

学校園の年度目標

- 平成31年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ICT機器を活用し、すべての児童の「わかる・できた」をめざした授業づくりに努める。
- 少人数授業(TT・習熟度)等の指導法の研究や指導力の向上に取り組む。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

取組内容【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】指標

- 各学級、学習室等で、ICT機器(タブレット・電子黒板等)を活用した学習活動等を毎月2回以上実施する。
- 教員の公開授業を年間15回以上実施する。
- 教育指導員等を指導要請し、研究授業(年3回)・研究協議を実施する。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み		購入時期		ICT機器の活用・研究授業・研究協議の実施					
効果検証	↑	1学期児童アンケート		↑ 小学校学力経年調査 ↑ ↑	2学期児童アンケート	調査結果分析			

取組

1

(校園コード 751726)
学校名 加美南部小学校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 取組内容【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・ICT機器を活用し、すべての児童の「わかる・できた」をめざした授業づくりに努める。 ・少人数授業（TT・習熟度）等の指導法の研究や指導力の向上に取り組む。	委員会使用欄	達成
予算内訳 11-1 簡易実物投影機 @47,500円×4 190,000円 11-1 顕微鏡アダプタ @ 5,000円×2 10,000円 合計200,000円		

期待される効果 授業において、ICT機器（簡易実物投影機等）の積極的な活用に努め、画像・映像等による児童の視覚的認知を高めることで、児童の学習意欲や学力の向上につなげる。		
---	--	--

(2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み		購入時期		ICT機器の活用・研究授業・研究協議の実施					
効果検証		↑	1学期児童アンケート	↑	小学校学力経年調査	↑	↑	2学期児童アンケート	調査結果分析

(3)取組内容に対する中間報告 ***中間報告時に記載**

- スケジュールどおり実施できている。
スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
スケジュールに大幅な遅れが出ている。（□他責・□自責）
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※決算報告時に記載

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。